

Dep. Doc 987

通報情報局編輯

昭和十二年三月（一九三七）發行

通報第二十號所載

外 國 情 報 部

注 目 ラ 志 イ タ

中 國 三 中 全 會 ノ 経 過

一、三 中 全 會 ニ 参 加 ス ル 各 派 ノ 動 向

西安事變ノ後ヲ受ケテ起カレタ中國國民黨ノ三中
全會（第三次中央執行委員全體會議）ノ經過如何ハ
各方面ノ注目スル所デアツタ。

特ニ我國トシテハ同會議ガ裏ニ張學良等ニ依ツテ主
張セラレタト傳ヘラル、容共抗日政策ヲ如何ニ處理
シヨウトスルカトイフトコロニ重大ナ關心ヲ持ツタ
ノデアルガ以下簡單ニ三中全會前ニ於ケル抗日派及
共產黨等ノ策動竝ニ會議ノ經過ニ付説明ヲ加ヘルコ
ト、シヨウ。

西安事變後勢力ヲ増シタ人民戦線派ノ抗日救國運
動ニ對シテ國民黨部ハ全國ノ人心ヲ收攬スルタメニ
人民戦線派ニ對スル對抗策トシテ救國統一運動ヲ企
テ所謂國民戦線運動ヲ開始シ、一月九日上海ニ於テ
封建的殘餘軍閥、共產黨及所謂人民戦線派ハ聯合戰
線、其他一切ノ反統一勢力ヲ否認シ、全國一致統一
救國運動ノ完成ヲ聲明シタ救國統一宣言ヲ發表シタ

Def. Doc 987

ガ、一月十七日ニハ中國文化建設會ノ主催デ救國
統一運動詩論會ガ開催セラレ、其後コノ運動ハ
一〇國ヲ中心トシテ全國各地ニ擴大サレ二月十五
日ニハ〇・〇國ヲ中心トスル市黨部、文化建設會、
大學中學各教職員聯合會、總工會及同業公會ノ代
表者ヲ以テ上海各界統一救國大同盟ガ結成サレ、
ソノ主張ヲ三中全會ニ採納方ヲ電請シ、代表ヲ三
中全會ニ派シテ請願サセルコト等ヲ決議シタノデ
アツタ。

マタ抗日派ハ三中全會ノ期日ノ切迫ト共ニ運動
ハ活潑トナリ、上海各界救國聯合會ハ全國一致抗
日救國ノ請願運動ヲ起シ、十四日ニハ上海各界廣
祝三中全會開幕大會ヲ開キ、全國抗日救國、三中
全會擁護ヲ叫ビ、一致抗日、國民會議招集、即時
出兵、失地回復、打倒親日派、擁護蔣委員長領導
全國抗日、聯合英米蘇德同反日、打倒日本帝國
主義等ノビラヲ振イテ示威運動ヲ行ツタ。マタ中
國共產黨中央執行委員會ハ抗日協同ノ目的カラ三
中全會ニ對シテ（一）内戰ヲ停止シ極力ヲ集中シ
テ一致對外スルコト（二）人民ノ言論、集會、結
社ノ自由ヲ保障スルコト（三）各派、各軍ノ代表
會議ヲ招集シ全國人材ヲ集中シテ共同救國ヲ爲ス
コト（四）迅速ニ對日抗戰ノ一切ノ準備工作ヲ完

Doc 987

ト(四)迅速ニ對日抗戰ノ一切ヲ奉備工製作ヲ完
會ヲ招集シ保衛ルコト(一)內會ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
社ノ自由ヲ保衛ルコト(二)內會ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
子一對外スルコト(一)委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
中全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
國共產黨ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
主義等ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
全黨ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
出兵ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
全會ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
三會ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
日救國ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
ハ救國ノ中央執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
ツタ。日本帝國
中全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
ソノ主張ヲ三會全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
表者ヲ以テ上海各界聯合會ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
大ニハ各教員中心ヲ全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
日ハ各教員中心ヲ全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
一國運動十日ハ各教員中心ヲ全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國
統一運動十日ハ各教員中心ヲ全黨ニ對シテ執行委員ハ抗戰ヲ行ツタ。日本帝國

Ref. Doc 987

成シ人民ノ生活ヲ改善スルコトノ四項ヲ決定サレ
タキ旨ヲ範請シ、同時ニ共產黨ハ（一）全中國内
ニ於テハ國民政府ヲ傾覆スル武裝暴動方針ヲ停止
シ（二）中國、ソヴイェト政府ハ中華民國民特別區
政府ヲ改名シ、紅軍ハ國民革命軍ト改稱シ何レモ
直接南京政府及軍事委員會ノ指揮ヲ受ケ（三）特
別區政府ノ區域内ニアツテハ普遍的、徹底的民主
制度ヲ實現シ（四）地主ノ土地ニ對スル沒收政策
ヲ停止シ堅ク抗日民主戰線ノ共同綱領ヲ執行スル、
コトヲ自ラ保障スル旨ヲ宣言シタト傳ヘラレテ居
ル。

テホ三中全会ニ出席シナカツタ地方有力者ノ中
テ山西ノ閻錫山ハ趙丕謙、徐永昌、李鴻文ヲ代理
トシテ出席セシメタガ會議ニ對シテハ何等ノ提議
ヲシナカツタ。陝西ノ李宗仁、白崇禧ハ四川ノ劉
湘及在陝西ノ中央委員トノ連名ヲ以テ、目前ノ對
日抗戰、危亡に救ニ歸スル最低限度ノ方策トシテ
（一）對日抗戰ヲ發動シテ危亡ヲ救フ策（二）民
衆ヲ組織訓練武裝シテ抗戰動員ノ基礎トナス策
（三）民衆ノ愛國言論ヲ保持シテ愛國運動ヲ開放
シテ救國ノ力量ヲ擴大スル策ヲ提出シタト報セラ
レテ居ル。

二、會議ノ經過

Def. Doc 987

斯クテ二月十四日マテニ提出セラレタ議案ハ馮
玉祥、李烈鈞等ノ救國案ニ基スル建議ヲ初メ
二十數件ニ達スルニ至リ蔣介石モ上海ヨリ歸リ余
漢謙、曾養甫、沈鴻烈、周養、張發奎、何成濬、
徐道泉、蔡廷鍇、何柱國等ノ中央委員モ皆々入京
シ、愈々十五日午前九時カラ中山陵前ニ於テ開會
式ガ行ハレ、蔣介石ハ出席セズ百七十六名ノ委員
ガ參集シ、汪兆銘ハ左ノ如キ開會ノ辭ヲ述べタノ
デアツタ。

「全國ノ和平統一ハ二中全會ノ宣言ニ基キ著シイ
進歩ヲ示シ、西北ノ共匪ハ自滅ニ墮ントシ、マタ
綏遠ノ役ニ於ケル晉綏ハ守土禦寇ノ成績ヲ擧ゲ、
同應ニ一線ノ希望ト無限ノ勇氣トラ興ヘタ。西安
事變ノ發生ハ救亡圖存ノ基礎ニ具備ノ動搖ヲ興ヘ
ントシタガ幸ニ蔣介石ノ脱出ヲ見、秩序ヲ回復シ
和平解決ヲ告ゲタ。然シ國難ノ益々加ハル限、失
地ヲ如何ニシテ回復スベキデアルカ、未ダ失ハザ
ル領土ヲ如何ニシテ保チ得ルベキカハ今後ノ努力
ニ俟バサケレバナラヌ。コレガ吾々工作ノ中心問
題デアル。マタ西北ノ不安ガ未ダ去ラナイ今日、
統一ト安定ヲ圖リ既定ノ國防計畫及剿匪工作ヲ整
頓サセナイ事モ當面ノ急務デアル。惟フニ救亡圖
存ハ自力ノ充實ニ俟テ、進シテ民力ノ増進ニ俟ツ。

4

Ref. Doc 987

吾人ハ如何ニシテ民權主義ニ基キ民主政治ヲ樹立
シ以テ建國ノ工作ヲ完成スベキデアルカ、コレマ
タ當面ニ解決ヲ要スル問題デアル。一
開會式ニ次イデ中央黨部會議室ニ於テ豫備會議ガ
開カレ、(一)蔣介石、汪兆銘、戴天仇、王法勤、
馮玉祥、于右任、孫科、鄒魯、居正ヲ會議ノ主席
團ニ推薦スルコト(二)葉楚傖ヲ會議ノ秘書長ニ
推薦スルコト(三)會期ヲ三日乃至五日トスルコ
ト(四)提案審查委員會ハ黨務、政治、經濟、教
育、軍事ノ五組ニ分チソノ人選ハ主席團ニ一任ス
ルコト(五)提案ハ審查委員會ノ審查ヲ經テ主席
團ニ送附スルコト竝ニ十七日ヲ以テ提案ノ受付ヲ
締切ルコトヲ決議シ、十六日ヨリ正式ノ會議ニ入
ツタノデアル。

(以下次頁ニ續ク)

Def. Doc 987

△會議第一日（二月十六日）！ハ先ヅ綏遠陣沒將士及西南事變犧牲者ノ默禱ガアツテ議事ニ入り豫備會議々事録、秘書處報告提案審查委員會員名（黨務組陳立夫以下三十八名、政治組邵力子以下四十七名、經濟組孔祥熙以下三十一名、教育組王世杰以下二十五名、軍事組何應欽以下三十五名）黨務報告（黨務委員會組織部宣傳部、民衆訓練部各報告）、政治報告（中央政治委員會行政院、司法院監察院各報告）ガアリ更ニ黨務報告ヲ黨務組、司法組、監察院及政治組々審查ニ附スルコトラ決議シタ。

△會議第二日（二月十七日）！ハ主席團ヨリ大會ノ宣言起草委員トシテ汪兆銘、戴天仇、葉楚傖、邵力子、陳布雷ノ五名ヲ指名シタコトラ報告シタ後議事ニ入り、何應欽ノ軍事報告及張群ノ外交報告ガアツタ他何等ノ討議ヲ行ハレナカツタ。

△會議第三日（二月十八日）！ハ孔祥熙ノ財政報告及國民大會選舉總事務所ノ工作報告ガアツタ後ニ黨務組、政治組及教育組各審查委員會カラ提出サレタ各議案ヲ上程シ討論ノ結果二十數件ノ議案ガ通過シタ。ソノ議案ハ政治ニ關スルモノハ災民救濟官吏制

Ref. Doc 987

度ノ改正、地方自治ノ改革等デ教育ニ關スルモノハ
學校制度ノ改革及教育費ノ増額ニ關スルモノガ主デ
アル。ナホ李宗仁等ガ提案シタ民衆ヲ組織訓練シテ
抗敵總動員ノ基礎ヲ鞏固ニスル案及愛國的言論ヲ保
障シ愛國運動ヲ解放シテ救國ノ實力ヲ増大セシムル
案モ上程サレタガ參考意見トシテ採擇シ中央ニ交附
スルコトニナツタト傳ヘラレテ居ル。

△會議第四日(二月十九日)ハ蔣介石ヨリ西安事變
ノ經過ニ關スル左ノ如キ報告書ガ提出サレタ。

「西安事變ハ全國軍民ノ正義ニヨリ叛亂者ヲ悔悟セ
シメ平靜ニ歸スルコトヲ得、自分ハ十二月二十六日
歸京シ張學良モ自首シタ。

當事叛亂派ハ全國軍ニ關スル主張ヲ通告シ外間ノ注
意ヲ起シタガ自分ハ終始張氏電報シタタメ張ハ全部
ノ意見ヲ言ヒ盡サズ事變發生後ノ第三日ニ至ツテ初
メテ所謂八項即チ(一)南京政府ヲ改組シ各黨各派
ヲ交ヘ救國ニ當ルコト(二)一切ノ内亂ヲ停止スル
コトヲ(三)上海ニ於テ渝和シタ要請ノ領袖ヲ釋放
スルコト(四)全國ノ政治犯ヲ釋放スルコト(五)
人民ノ集會、結社ゾ、他一切ノ自由ヲ保護スルコト
(六)民衆ノ愛國運動ヲ解放スルコト(七)孫總理

Ref. Doc. 987

ノ遺囑ヲ職官ニ遵守スルコト（八）救國會ヲ即時召集スルコトノ實行ヲ自分ニ強要シタノチ自分ハ張ニ對シテ、罪ヲ悔イ自分ヲ南京ニ送還スルコトラ命ズルト共に、黨國ニハ一定ノ組織ト系統ガアルカラ何等ガ異見ガアルナラバ中央ニ陳情スベキヲ諭シタトコロ張ハ自分ガ歸京シタ後ニコレラ中央ニ提出スルコトラ請ウタノチ依ツテ自分ハ中央ニ提出スルコトハ差支ヘガナイガ自分ハ張ノ主張ニハ不贊成デアルコトラ必ズ聲明スルト迄ヘタ。三中全會ニ於テハ河北ノ善後措置ニ適當ノ支持ヲ與ヘテ國運ニ對シ詳細ナ檢討ガアツタガココニ張ノ要求スル八項目ノ主張ニ對スル經過ヲ述ベテ參考トスル次第デアル。一

一コレニ對シテ大會トシテハ蔣ノ取ツタ措置ニ對シテ深ク感謝慰問スルト共に、憂國ノタメニ殉職シタ文武官ニ對シテハ哀悼ノ意ヲ表示スルモノデアツテ特ニ叛亂者ガ蔣ニ要求シタ所謂八項ニ對シテ蔣ガ嚴然コレニ反對シタノハ感佩ニ堪ヘヌ。コノ種ノ要求ハソノ内容ノ如何ヲ問ハズ叛逆ノ行爲ト脅威ノ方法ニヨツタモノデアルガ故ニ國法及軍紀上許スベカラザルハ勿論本大會ニ於テモコレヲ取上ゲズ唯悔悟者ニ對シテハ追求シナイコトラシタ旨ヲ決議シタ。

Def. Doc 987

次イテ討議ニ入り各案在委員會カラ上程シタ（一）
（二）地方自治綱領草案ハ常務委員會ノ研究ニ附シ（三）基
礎的教國家トノ政治經濟ノ文化關係ノ發達方ニ付ス
ル一定方針確立案ハ中央政治委員會ノ審議ニ移シ（
三）鞏固ナ和平統一貫徹方策確定案ハ政治委員會ノ
審議ニ附シ（四）庫金三百萬元總理紀念學獎勵金設
置案ハ文化事業計畫委員會ラシテ更ニ辦法ヲ研究セ
シメ常務委員會ノ決議ニ移スコト等ノ各提案ヲ決議
シタ。マタ蔣介石カラ提出サレタ二月十八日附本兼
各職辭職呈文ハ主席團カラ慰留方ノ意見附テ上程サ
レタガ國民黨ハ國難ノ折柄蔣ノ領導ノ下ニ努力邁進
ヲ望ムヲ以テコノ際辭職ノ願出ハ聽取ケナイコトニ
全會一致ヲ以テ決議シタ。

△會議第五日（二月二十日）一ハ主席團提出ノ國民
大會ニ關スル議案ヲ上程シ左ノ如ク決定シタ。

（一）今年十一月十三日國民大會ヲ能キ憲法ヲ制定シ
竝ニソノ施行期日ヲ決定スルコト

（二）國民大會組織法代表選舉法ニ改正ヲ加フベキコ
トガアルナラバ常務委員會ラシテコレヲ行ハシ
ムルコト

Def. Doc. 987

(三) 國民大會ニ附スル提案ハ凡テ常務委員ニ交附シ
テソノ參考ニ資スルコト

コレニ引續キ三中全會宣言草案ヲ附聯シタガ討論
ノ結果修正スベキ點ヲ生ジタメテ閉會ヲ宣スルコト
ガ出來ズ改メテ二十一日ニ閉會式ヲ行ヒ宣言ヲ發表
スルコトトナツタ。

△會議第六日 (二月二十一日) I へ主席團ノ提出ニ
カ、ル赤化根絶決議案「現在共產黨ハ邊境ノ地ニ在
リ中央ニ誠ヲ誓フトイフ小説ガ傳ヘラレテ居ルガ、
共產黨ノ過去ニ於ケル歴史ニ復シテ彼等ガ眞ニ改心
シテ國民主義ニ服從シ、國法軍令モ遵守シテ支那ノ
良民トナルノデナケレバ中央ハ國家ノ治安維持、人
民ノ生命財産ノ保護上コレヲ放任シテ置クコトハ出
來ナイ。一ヨツテ中央ノ執ルベキ當面ニ於ケル最低
限度ノ便法ハ(一)主義ノ相容レナイ所謂紅軍及ソ
ノ他類似ノ名目ヲ有スル武力ハ徹底的ニ取消スコト
(二)所謂ソヴェエト政府及ソノ他統一ヲ破壞スル
組織ヲ徹底的ニ取消スコト

Def. Doc 987

(三) 三民主義ト絶對相容レナイ赤化宣傳ヲ根本的ニ停止セシムルコト (四) 武裝暴動ノ手段ニ出テ社會民衆ノ不安ヲ招來スル暗殺闘争ヲ根本的ニ停止セシムルコトノ四點デアアルガ、要スルニ獨立自主ノ國ニ於テハ斷ジテ半國家、半民族ニシテ而モ外力ニ附加スル國体ノ存在及民族ニ有害ニシテ道德ヲ破壞スルガ如キ行為ノアルコトヲ許サス。吾人ハ先ヅ支那民族國有ノ精神ト道德トヲ恢復シテ獨立自主ノ人格ヲ樹立シ得レバ、支那國有ノ長國ヲ復活シ歴史光明榮ヲ繼承シテ三民主義ヲ實現シ得ベキコトヲ知ルコトガ出來ル。即チ赤化ノ根絶ハ支那ノ國家民族振興ノ不易ノ大道デアアル。

一 中央民衆訓練部長周介海ノ辭職ヲ許可シ陳公博ヲ後任ニ推ス案

一 中央宣傳部長劉江樞ヲ罷メ後任ニ邵力子ヲ推ス案

一 中央常務會議ハ三屆胡漢民ノ死去並ニ副主席蔣介石ノ職務條例ニ迫グルガメ今後主席制ヲ廢シ常務委員制ヲ復活スル案

等ヲ議決シタ。

斯クテ閉會式ハ二十一日ニ行ハレ次頁ノ如キ宣言ヲ發シテ三中全會ハ終ツタノデアアル。

三 三中全會宣言

一 對外方針

支那ハ今日逆孫文ノ遺訓デアアル自救自強ノ途並ニ全大會、二中全會等ニ於テ決定セル方針ニ基イテ最

11

Def. Doc 987

12

大ノ忍耐ト決心トラ以テ国家ノ生存ト民族復興ノ活
躍ヲ求メ、和平ガ全ク絶望ノ時ニ至ラナケレバ決シ
テ和平ヲ行ハシテシナイガ万一ノ場合ハ最後犠牲ノ
大決心ヲ以テ外國ト、和平ニ對シテ最大ノ努力ヲ爲
シテ來々ガ、二中全會以後ノ對日交渉モ全クコノ方
針ニ基イタモノテ過去數ヶ月間折衝シ屢々決裂ニ頻
シタガハシテ來々ノ方針ヲ堅持シテ來々。今後モ右方
針ヲ繼承シ且コレガ進行ニ努ムベク若シ国家ノ蒙ル
損害ガ吾人ノ忍耐ノ程度ヲ越ユルコトガアレバ決然
抵抗ノ意思ニ出ルガ、コレハ單ナル自衛ノ手段ニ止
マリ決シテ併他何意味ヲ含ムモノデハナイ。併シナ
ガラ吾人ノ和平ノ希望ガ全ク断絶セラレナイ以前ニ
於テハ平等互惠及領土主權互尊ノ原則ニヨリ漸次ニ
解決ヲ策シ、匪滿ヲシテソノ倚賴スルトコロヲ衰ハ
シメ（二十一日ノ上海華英報ニ發表サレタ宣言文
ニハ「冀東、察北ノ匪滿ヲシテソノ倚賴スル所ヲ衰
ハシメ、我輩北行隊及主權ノ侵害ヲ除去シ」云々ト
アツタガコレハソノ後削除サレテ發表サレタモノテ
アラウ）以テ主權ノ完成ヲ期スベシ。然ルトキハ兩
國膠着ハ未ダ完全ニ消滅シナイトハ雖モ和平手段ヲ
以テ紛糾ヲ解決シ得ベキ可能性ガ漸次現ハレテ來ル
デアラウ。コレ文部ガ舉國一致シテ最モ短イ時間ニ
貫徹ヲ期スベキトコロデアル。ソノ他一般ノ國際
關係ハ和平ノ原則ニ基キ政治的協同及經濟合作ノ管
理ニ努ムベキハ勿論デアル。

二 國內方針

和平統一ハ數年以來、全國民ガ一致シテ守ツテ來
 タ信賴テアルガ、和平統一ト所謂内戦停止トハ眞實
 ノ差コソアレ民族ノ刀ヲ棄メ目ノ口難ヲ排除シ民
 權主義ノ大道ニ踏ミ入り内閣ノ淘汰カラ免レヨウ
 トスル目的ニハ變リガナク、從ツテ同一主義ノ下ニ
 於テ單ナル意見ノ相違ニヨリ武力内争ヲ爲スガ如キ
 ハ國家トシテ採ラナイトコロテアル。共産分子ハ最
 近、共同暴徒ノ標語ヲ以テ時惑ケテキルガ過去ノ歴
 史ニ照シ國民革命ヲ叛變スルモノデアルカラ、方法
 ノ如何ヲ問ゼズ自刀ヲ以テ赤禍ノ根絶ヲ爲サナケレ
 バナラヌ。ノノ他民衆ノ組織及訓練ハ國民黨ノ大職
 デアルガ、國民大會開催ノ準備ガ未ダ整ハナイカラ
 主管機關ヲ督促シテ速カニ右大會ヲ招集シ憲法ヲ制
 定シ民權主義ノ基礎ヲ固ムルニ努ムベク、又經濟建
 設モ國家統一ノ進行上重要ナル問題デアルガ、右ハ
 孫總理ノ民生主義ニ基キ農工商業ノ發展ヲ計リ金融
 經濟ノ安定ヲ策スルデアリ。

Ref. Doc 987 (cert)

文書ノ出所竝ニ成立ニ關スル證明書

自分、林君ハ外務省文書課長ノ職ニ居ル者ナル處、
茲ニ添付セラレタル日本語ニ依ツテ書カレ拾壹頁ヨ
リ成ル注目ヲ惹イタ中國三中全會ノ經過ト題スル書
類ハ日本政府（外務省）ノ保管ニ係ル公文書ノ拔率
ノ正確ニシテ眞實ナル爲シナルコトヲ證明ス

昭和二十二年二月二十七日

於東京

林

印

右署名捺印ハ自分ノ面前ニ於テ爲サレタリ

同日於同所

立會人 佐藤 武五郎 印